

# 検体測定室外部精度管理調査 試験用試料採取手順(冷凍試料)

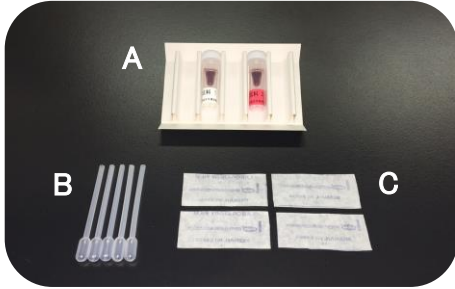
パラフィルムの上に試験試料を採取し、指頭血に見立てて測定していただきます。

※cobas b 101 は「コバス b 101 による外部精度管理試料採取方法」をあわせてご覧ください。

<http://www.yubisaki.org/lp/quality-control/common/items/cobas.pdf>



## ■届くもの



- 1装置につき、  
 A 測定試料 2 レベル、各 1 本  
 容量 0.3mL、  
 計 2 本小箱入り  
 B ピпет 5 本(1 本予備)  
 C パラフィルム 4 枚

## ■薬局様にて準備するもの

- ・測定試薬カートリッジ(ディスク)  
 ※少なくとも 4 回分
- ・専用の廃棄箱
- ・ゴム手袋(パウダーフリー)

## ■使用手順 【注意】すべての測定(2回)は1時間以内に終了させてください。



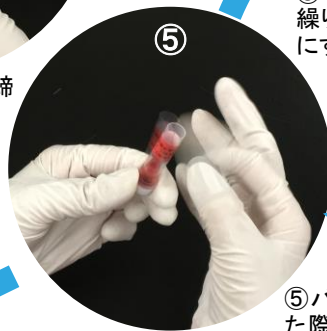
①試料を室温に取り出し、静置する(約 25°C、20 分)。パラフィルムやピペットの準備を行う。(PARAFILM と印字された紙をはがし、内面を使用する。)



②キャップを増し締めする。



③～④バイアルの端を指でつまみ、転倒混和する。

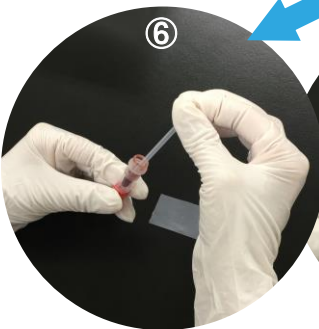


③→④→⑤を 5 回繰り返す、十分に均質にする。



### 【キャップを開けるとき注意点】

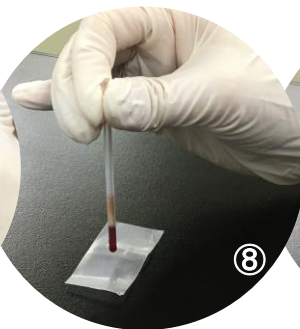
※キャップを開ける前にバイアル上部をはじいて、キャップに付着した液を落としてください。



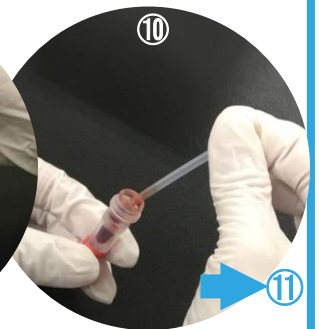
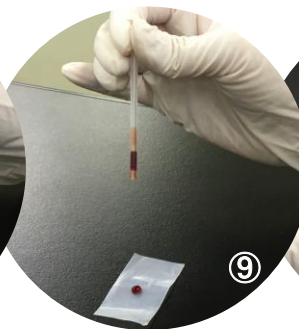
⑥ピペットを液の内部に差し込み、ゆっくりと液を吸う。



⑦ピペットの 1.0~1.5cm まで吸い上げる。



⑧～⑨ピペットを立ててパラフィルムに球ができるように液を滴下する。



⑩ピペット内の残液はバイアルに戻す。



⑪試料量の目安は米粒程度(約 10 μL)。



⑫各装置のキャピラリーに吸引させ、測定操作を行う。

### 【注意】

- 測定は計 4 回(試料 2 種類を 2 回ずつ測定)のため、少なくとも 4 回分の試薬カートリッジ(ディスク)が必要です。
- 測定日が試薬カートリッジ(ディスク)の有効期限内であることを確認し、ロット No.を控えてください。
- 測定ごとに、必ず③～⑩の転倒混和及び試料採取の作業を行ってください。
- パラフィルムに試料を滴下後、すみやかに測定操作を行ってください。
- 試料採取に使用したピペットや脱脂綿は、専用の廃棄箱に入れ、測定に使用した廃棄物と同様に適切に処理して下さい。